

【2022年下半期リーディング・スペースコンシャス編 Sさんの場合】

個人を特定するような人間関係や状況に関するところを除き、本質的なリーディング部分を抜粋しました。13チャクラをベースにしており、それぞれに・・・

ディアクティベーション（古いプログラム価値観、思い込み、観念などを解除する）
アクティベーション（活性、有効化、実施など）

の概要をリーディングしています。エネルギーも動いています。
内容を読むことでエネルギーや体感に違いを感じる場合もあります。

=====

① ルートチャクラ

〈ディアクティベーション〉 苔色のエネルギーが螺旋を巻いている。半時計周りにうねっている。スパイラル、逆行する。相反するものを想定すること。右があれば左、AがあればB、という具合に。生命力を注ぐ力が分断する。常に生きることによって葛藤や障害がある。力の分散を起こしている。実際に迷いが多く、集中することが苦手なのでは？あえて逃げ道を用意している。

〈アクティベーション〉 火柱。根源のエネルギーとつながる能力。頭で生きることを考えすぎではなく、足裏から全身に大地・地球のエネルギーを取り込むことを思い出す。大地にしっかり重心を感じると、先祖や民族的なルーツから受け継がれてきた生存能力を思い出すことができる。物質やお金によって生きようとする考えは頭が重たく、足元が軽くなっているときだから。

② 丹田のチャクラ

〈ディアクティベーション〉 恐れ。特に女性であることの恐れ。自分自身の実体験からくるものではなく、集合意識や、古えからの歴史的なプログラム。謙虚さや控えめであることと、恐れから引いてしまっている違いを認識していない。

〈アクティベーション〉 さながら、自由の女神、ジャンヌ・ダルクのように、人々の精神を力強く導く力。強い母性、母は強し、女神や弁財天など女性性のシンボル。全てを許す、母親だけが我が子を許すような強い女性エネルギー。感覚によって認識する能力、動物や植物と愛通じる感性。人類と他の地球上の生物を互いに、創造主の感性を持って結びつけること。生み出すこと、創造性を自然に受け入れること。

③ 太陽神経叢のチャクラ

〈ディアクティベーション〉 統制された社会、序列、現代社会におけるカースト制度。優れたものが上に立つ。ルールや規則によって平和や安全が保障される。お金によって人の力が決まるという恐れ。従属関係。何かに属さなければならない。他者の意見にむやみに合わせる事。

〈アクティベーション〉 自信と信念の回復。正誤性に制限を受けず、直感的な判断や行動を尊重すること。自律する許可。他者の自律を促すこと。人は人、それぞれ。ルーティンの中に新鮮さがある。

④ ハートチャクラ

〈ディアクティベーション〉 古い関係性、既に終了している関係を手放す。愛に対する計算、駆け引き。関係性の因果関係を探ろうとすること。パートナー、相手や関わりとコントロールしようとする。ヒーリングへの逃避。母子関係や家族関係のフィルターによって、無意識に他者と関わる事。

〈アクティベーション〉 愛を優先する。マインドの静寂。力、力みを抜く、リラックス。白蛇、巳のイメージが出てくるが、「賢明な情」を持つこと。情には流されないが、情緒的な愛情を持ってパートナーシップを楽しむこと。

⑤ 喉のチャクラ

〈ディアクティベーション〉 わざわざ言わなければいけない慣習。それが礼儀や関係性のために必要であればだが、コミュニケーションの際に再確認したほうがいい。惰性になった関わり方。同じ相手やグループに対して、関わりをアップデートする。コミュニケーションは面倒なものだ、難しい、怖い、気を遣うというプログラム。実際の経験上というより、一般的なプログラムの影響を割と受けている。

〈アクティベーション〉 自信や確信を持ったコミュニケーション、発言をすること。推測や憶測のために、コミュニケーションや表現が鈍ってきたものがあるはず。曖昧や推測で発することは、そのことを明言しておけば問題ない。

⑥ 第三の目のチャクラ

〈ディアクティベーション〉 将来を計画しなければ、ビジョンを持たなければならない。未来を前提に今、何をしたらいいか、という先々への不安に基づく生き方。未来が安定するために、今しっかりしなければ、という社会的な規範。常識的なことにお伺いを立てること。一応、気にする、といったこと。令和になって一層強いプログラムになっているもの。メディアや情報媒体による常識。

〈アクティベーション〉 信念に基づく計画的な考え方。反省と後悔の区別を持つこと。アイデアや気づきのアレンジ。賢明な秩序によって思考を組み立てること。宗教の多様性と統一感（ワンネス）を認識する。

⑦ 王冠のチャクラ

〈ディアクティベーション〉 古い信念体系。自分自身の中にあるものと、家系や民族的に受け継いでいるもの両方がある。思っている以上に頑固さんで、ご自身ではそれに気づいていない可能性が高い。それが、頭にエネルギーを溜め込みすぎて、思うように使えておらず、頭から首にかけて、さらに肩への凝りにつながっている。

〈アクティベーション〉 直感的な自分の声（ハイヤーセルフ）に光を当てて（明晰にすること）従うこと。とかく、自分の声より、周りの声を優先してきているので。「あなたの生きる道・進む道」に向かうこと。

⑧ ユニバーサルハートチャクラ

〈ディアクティベーション〉 宇宙に気を遣うこと、つまり宇宙の法則やスピリチュアルな諸説にとらわれるようなこと。あなたが宇宙であるのだから。

〈アクティベーション〉 「神髄」 つまり、物事のもっとも肝心な点、その道の奥義。道を追究、極める領域につながること。ご自分の専門性に限らず、些細な関わりのある物事、他者についても、その肝心なところに繋がる意識。

⑨ アーススターチャクラ

〈ディアクティベーション〉 前世と今の因果関係、前世をドラマチックにとらわれること。無知、わからないことへの気おくれ、へり下り。

〈アクティベーション〉 宇宙へ旅すること。月への旅行、近い将来可能になる地球を離れる旅行について、現実的に扱うこと。おそらく、そのうち行くだろう。実際にあなたが思っているより早い段階で、行こうとするかもしれない。

⑩ ステラゲートウェイチャクラ

〈ディアクティベーション〉 理科の授業やドキュメンタリー番組で扱われる太陽系と地球の関係。想像や妄想の中から生み出された知識や教育があるから。ただし、それが真実かそうでないか真偽を正すことではなく、研究や調査の先に新しい真実が明らかになる余地を備えておくために。

〈アクティベーション〉 よく寝ること、とにかく十分に眠ること。寿命のために、休息が必要だから。睡眠がもたらす脳の覚醒があるのかもしれない。

⑪ オーバーソウルチャクラ

〈ディアクティベーション〉 他の惑星の宇宙人が地球に侵略してくる、とか、宇宙人が地球に既にたくさん居る、という説。その本意を十分に理解していない（腑に落ちていない）まま、スピリチュアルな情報に耳を貸している段階だから。おかしい理解のものを持っていると、気づきが起こらない。*そもそも宇宙人がそう言ったことを、まだ地球人は理解しようがない。江戸時代の人に twitter を説明するようなもの。

〈アクティベーション〉 並行宇宙、パラレルライフ。同時期に（時間の概念が影響しない次元における「同じタイミング」？）あなたが存るということ。これは頭で整理し理解しておいたほうがいい。それが現実を起こるようになるから。

⑫ 神聖オーバーソウルチャクラ

〈ディアクティベーション〉 「神と繋がる」という教え。教えが間違っている、という意味でなく、わざわざ繋がる、接続する、普段は離れていて時々繋がる、といった接続感がおかしい。そもそもいつも繋がっているのだから。例えるなら、血縁のようなイメージか。

〈アクティベーション〉 あなた自身の「宇宙」を統合すること。つまり、意識分散が多く、葛藤や迷いや混乱に意識を取られがちなので、それらを統合せよ、と意味。

⑬ クリエイター・根源のチャクラ

〈ディアクティベーション〉 芸術家、という専門性。創造者、クリエイター、アーティストという枠が、才能や能力を発揮を制限し、プレッシャーを与えている。そのままでもいい。何かをうみ出す、創り出すより、あなたそのものを出す、表現する。実際、創作やパフォーマンス表現に、分厚い抵抗の壁が1枚なくなる。

〈アクティベーション〉 創造主に対する畏敬、リスペクト。そんなに重々しくないが、「山の神を敬う」とか、ナチュラルな感じで、創造主、源をリスペクトすること。自己の存在、表現に対して、ある種の謙遜、謙虚さがあり、かつ、自信を持って力強く創作する能力。

☆ 課題についてスペースコンシャスの見解

全般的にディアクティベートすることで、小さく、萎縮というか、遠慮して生きている姿勢から、姿勢が良いイメージに変わる。アクティベーションによって、物事の本当のところ、に気づいていき、日々がもっともっと楽しく、ワクワクしていく。一日の充実感が、かなり増す。特に時間の流れが、濃く感じられ、過不足ない1日、ちょうどいいと満足する具合になっていく。下半期は、ご自身の「修行」「鍛錬」となることが多い。辛い、キツイものでなく、ご自分で成長や変容を感じられるはず！

=====

【 2022 年下半期 アクティベーションするための意識と波動の特性 】

私〇〇〇〇〇の〇月の「アクティベーションするための意識と波動の特性」をリーディングしてください。

7月

我慢や、無理をしないこと。結構、ご自分のデフォルトが頑張り屋さん、無理して当たり前のところがおありなので、まずは、域を超えているラインに気が付くこと。ちょっと軽すぎる、楽すぎる、でちょうどいい。

8月

よく汗をかいている画像が出てくるが、夏でもしっかり汗を、むしろ大汗をかくようなこと。なんでも良いみたい。クーラーをつけない、といったことではなく(笑) それこそ良識に考えて、心理的ではなく、体が発汗するような活動、全般。古い意識、やり方が汗と共に爽やかに抜けていく感じがする。

9月

熟慮、しっかり深く丁寧に考える。この頃には、今よりも意識が明晰で、曖昧な思考は改善されているだろうから、何か課題があったときに、信念と冷静さを持って事を導くことができる。そのプロセスが、高い波動の持久力をつける。

10月

関わりのないものに対してクールに。余計なことに関わらない。話に尾ヒレをつけない。

11月

「重んじる」「尊重する」 それは例えば、季節を重んじる、相手の言葉を尊重する、など。あなたが意識を向けたものに、波動が上がる。誰かを尊重すれば、その人は元気になる、賢明になる、など。

12月

運気にとらわれない、左右されないこと。力が弱い、元気がないと、気にしてしまうのが運気。そもそも運気は強いパワー(意志を持つもの、自然界のうねり、など)に寄せてくるもの。ある程度の波動に入れば、運気の方が自然に誘ってくれる。